



デザイン：合同会社 IN THE FIELD <https://inthefield.work/>



▲ 大野城市表彰 特別表彰 (2月15日(土))



▲ ベースキャンプでシェルパたちと (左から2人目が渡邊さん)

きて考えすぎだと思えてしまいます。私は、シェルパ族の単純さがいと感じています。また、シェルパ同士で言わなくても協力しあえるし、間違ったことをした人を許す文化があります。もししたらそうなるのかを、彼らから学びたいと思っています。

初心者でも高所登山はできますか
 ベースキャンプには、コックが各国のおいしい料理を作ってくれたり、カフェがあったりと充実しています。登山に必要な道具や食糧、酸素ボ

クスを楽しむは
 他にどんなものがありますか
 登山の楽しみみの一つに、ハプニングを楽しむ事があります。私は負けず嫌いで、何が何でもやり遂げたいという性格だと思っていました。しかし、エベレストで頂上150m手前で天候が急に悪くなった時のこと、私のシェルパは、あと少しだから登頂しようと言いましたが、その時、私は冷静に状況を判断し、安全を考え登頂を断念しました。自分の新たな一面に気付くのは、新鮮な驚きでもあります。

今後の活動や
登山を通してやりたい事は
 8000m峰登山は生活の一部なので、今後も続けていきます。私が企画したヒマラヤトレッキングに参加した20代の若者たちがいました。

ンベはシェルパが最終キャンプ地まで運び、私たちは酸素ボンベ一本だけを担いで登頂できます。初心者でも登れる8000m峰があります。また、初心者を連れて行くときは、少し早めに現地に行き高度順応を長めにするとか、行程を変えたり、レベルの高いシェルパにお願いしたりして、登山の準備やマネジメントをしっかりします。登頂が目的ではなく、シェルパとの交流を含め、現地で行くので、命の危険を冒してまで登頂しようと思いません。

かもれません。私のホームタウンみたいになっていて、気心の知れたシェルパがいるヒマラヤに連れて行きたいと思っています。

彼女らは、普段感情が表にあまり出ないとのことでしたが、通常会えない8000m峰専属シェルパたちとの交流や、シェルパたちがルート開拓して道なき道を行くトレッキングなどがおもしろく、普段できない経験ができたこと涙していました。初めて4000m以上まで登れたことやその景色への感動もあり、涙する参加者もいました。また、こどもたちの登山について、問い合わせや連絡も多く来ています。希望するこどもについては、できるだけ機会を逃さないようにしたいと思います。私が、ヒマラヤで変わったように、こどもたちも人生が変わる機会になるかもれません。